

## アウトソーシングの一例・売上高60億円・商社の場合

顧問の条件	記帳代行の条件
売上規模：60億円	仕訳個数：月間1500個
業種：商社	会計処理難易度：やや高い
難易度：やや高い	資料整理状況：レベル3
訪問回数：税理士が年12回	給与計算：正社員30人
体制・現状	体制・アウトソーシングの場合
経理部長：1名・事務員：2名	部長：0名・事務員：1名 弊社スタッフ2名×月3回×5時間
年間人件費	
部長：820万円 事務員：840万円（2名） 合計：1,680万円	部長：0円 事務員：420万円（1名分） 合計：420万円
年間外注費	
0円	記帳代行料： 1500個×100円×（1+1）×12か月=360万円 給与計算： 5万円×12か月=60万円 （※社労士と提携して労務全般も関わる）
その他経費	
退職金積立・社会保険料 333万円 （※合計で人件費の15%とする） 1680万円×15%=252万円	0円
消費税	
控除できない	（360万円+60万円）×8%=33.6万円
年間費用（キャッシュアウト）	
1680万円+252万円=1932万円	420万円+360万円+60万円-33.6万円 =806.4万円
キャッシュアウト差額：1932万円-806.4万円=1125.6万円▲ （※年間の必要資金が半分以下になる）	
※その他課題の解決	
従業員に対する労務の問題抱える	労務の問題が大幅に減少する
退職金支払いを将来に残す	退職金は発生しない
採用募集費がかかる	採用費がかからない
職員の教育に時間がかかる	即戦力
ノウハウ、スキルの承継が煩雑	ノウハウ、スキルの承継が容易